

マイクロプラスチック汚染

田中良春

Yoshiharu Tanaka

メタウォーター(株)

プラスチック廃棄物問題は世界的に喫緊の課題となっています。

日本でも、ようやく環境省と経済産業省が2019年12月、容器包装リサイクル法の関係省令を改正するとともに、制度の円滑な実施に向けたガイドラインを公表。また、レジ袋の有料化を義務付ける制度の運用指針をまとめ、公表しました。スーパーやコンビニエンスストアなどすべての小売店を対象に、東京五輪・パラリンピックの開催直前となる2020年7月から始める計画で、消費者に身近なレジ袋を有料化し、プラスチックごみの削減に向けた意識改革を促すことを目的としています。

本号では学会の中でも特に関心の高かったマイクロ

プラスチック汚染問題について焦点を当て、水環境における汚染の現状、最近の分析、測定技術やマイクロプラスチックの多様さ、環境試料ゆえの前処理の難しさや課題、現在までの汚染の実態や水環境中での挙動、今後の研究課題などについて、現在、第一線でご活躍の研究者の方々に解説をいただきました。

本企画が、プラスチック廃棄物問題について状況を正しく理解し、適切に対応して行くため、正確で詳細な調査基礎研究が重要であることへの再認識につながり、プラスチック廃棄物のリユース、リデュース等対策技術の開発促進や解決に向けたグローバルな視点でのアプローチへと進む一助となることを期待したいと思います。